

# ぽっかぽか



R6. 12. 19  
園長だより NO.5  
富士市立天間幼稚園



参加日には、子どもたちの表現遊びの仲間入りをさせていただき、ありがとうございました。大好きなお家の人と一緒に演じてくれたことで、より一層、張り切って遊ぶ姿が見られましたね。天間幼稚園では、豊かな感性と表現力を育む過程としての表現遊びを大事に捉えています。

## 表現遊びでは…

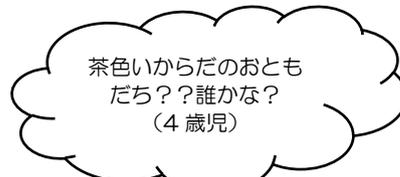


### 好きなものになりきって遊ぶ

忍者や動物、ヒーロー、お姫様、魚など、物語の世界の登場人物や、自分の興味のあるものなどになることで、ごっこ遊びの延長としてのやりとりを楽しんだり、「こうありたいな」「こうだったらいいな」という自分の願望を、遊びの中で実現させていく満足感を味わったりできます。



隠れるのが得意な忍者たち  
(3歳児)



茶色いからだのおとも  
だち??誰かな?  
(4歳児)



僕たちは戦士だっ!  
(5歳児)

### 教師や友達と関わって遊ぶ

物語の中で、同じ思いを共有しながら、友達とのやりとりを楽しむことができます。先生や友達の動きや言葉に刺激を受けて、自分もやってみよう!こうしてみよう!という気持ちが芽生えてきます。

自分が楽しむだけでなく、相手や仲間のいる遊びなので、友達の頑張っている姿や、工夫して動く姿、その気になってなりきっている姿を見ることで、友だちのよいところに気づくようになります。



忍者 参上! (3歳児)



先生も一緒に、なりきって遊びます。(4歳児)

綱引きで勝負だ!よいしょ  
よいしょ。(5歳児)



いろいろな素材に触れながら、必要なものを描いたり作ったりする。

繰り返し表現を楽しんでいるうちに、必要な背景や小道具が出てきます。それらを作る作業もまた、遊びです。皆で絵の具を使ってダイナミックに色を塗るのも楽しいですし、いつも遊びに使っている素材を用いながら、工夫して自分だけの小道具を作ったり、衣装の装飾を行ったりもします。



大道具を作る (5 歳児)

自分の思いを言葉で伝えたり、相手の思いを聞いたりする。

繰り返し遊ぶ中で、やりたいことを言葉で伝えようとする姿が見られます。また、劇遊びをした後に、やったことの振り返りができるようになってきて、感想や、思いを伝える気持ちが育ちます。4歳児、5歳児になると、一つのイメージを共有しながら、どうしていくかについて話し合いができるようになります。相手にわかってもらうために、「言葉」を使って伝え合うことが大切になってきます。5歳児は、劇のストーリーを考えるとこから、毎日、話し合いを重ねました。子どもたちの言った言葉を先生がメモしながら残していきます。積み重ねの中で、最初は自分の意見ばかり言っていた子も、友達の意見も「聞く」耳が育ってきました。



〇〇が海の中に入るんだ？どうやって…？  
(5 歳児)  
皆で出てきた問題について考えを出し合います。



「ボールを投げるのがかっこよかったよ。」(3 歳児)  
劇を観た感想を 5 歳児に伝えます。

ありがとう！(5 歳児)  
3 歳児の言葉を優しく受け止めてくれます。



劇を見せてもらった後は、感想を伝えていっています。本当によく見ているので、気持ちがこもっています。

びんびんがかっこよかったよ。(3 歳児)

4 歳児もしっかりと感想を聞こうとしています。

参加日でも、保護者の方から感想をその場で伝えていただき、ありがとうございました。子どもたち、とてもうれしそうでしたね。



劇を作る過程から、見せ合うようになるまで、学年を越えての子ども達のさまざまなやりとりが行われています。「繰り返し遊び込む」ことで得られる育ちです。

参加日が終わっても、今度は、他のクラスと入り乱れながら、やりたい役になっています。冬休みを迎え、遊びはいったん終息を迎えることとは思いますが、友達とイメージを共有しながら楽しんだ満足感が、3 学期の次の活動に繋がっていくと信じています。楽しみです。

冬休み、元気にお過ごしください。

※園の教育についてのアンケートのしめきりが20日となっております。ご協力、よろしくお願いいたします。

